

経営比較分析表（令和4年度決算）

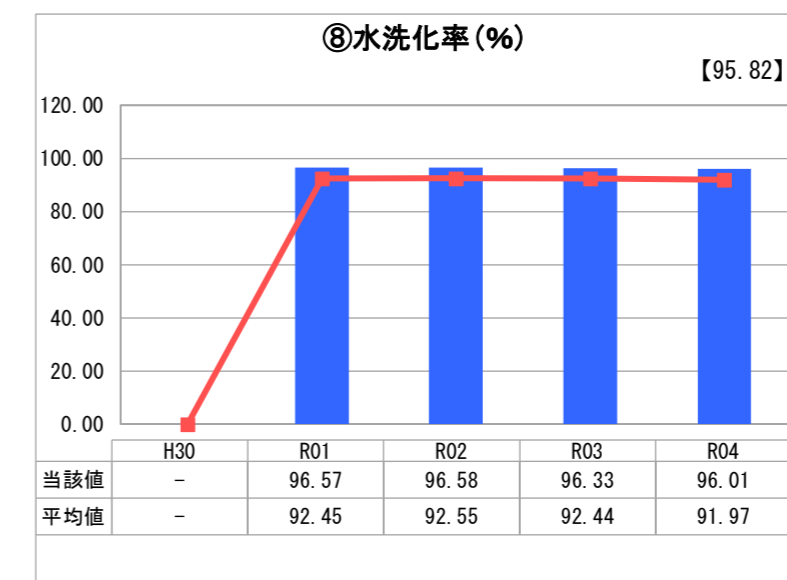
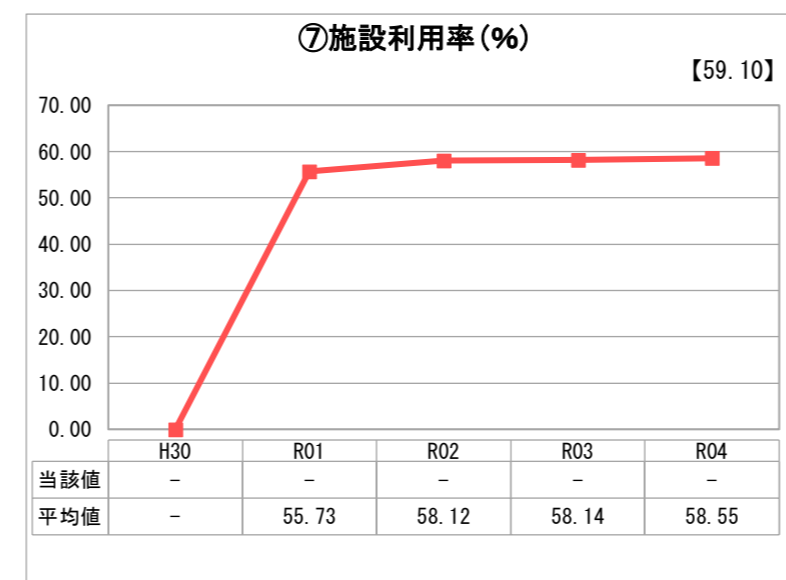
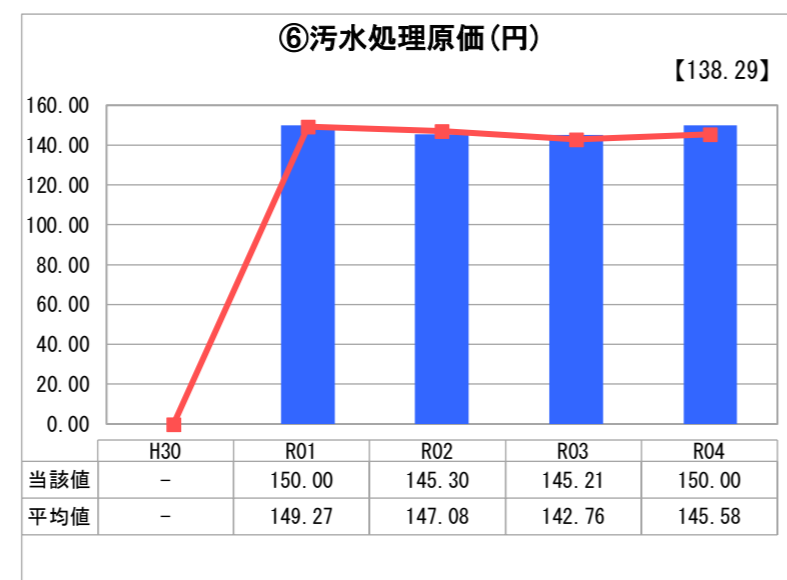
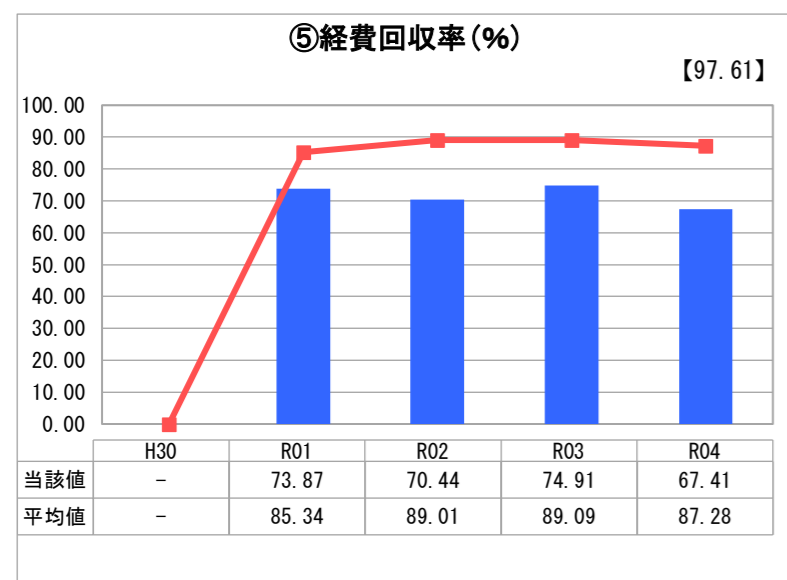
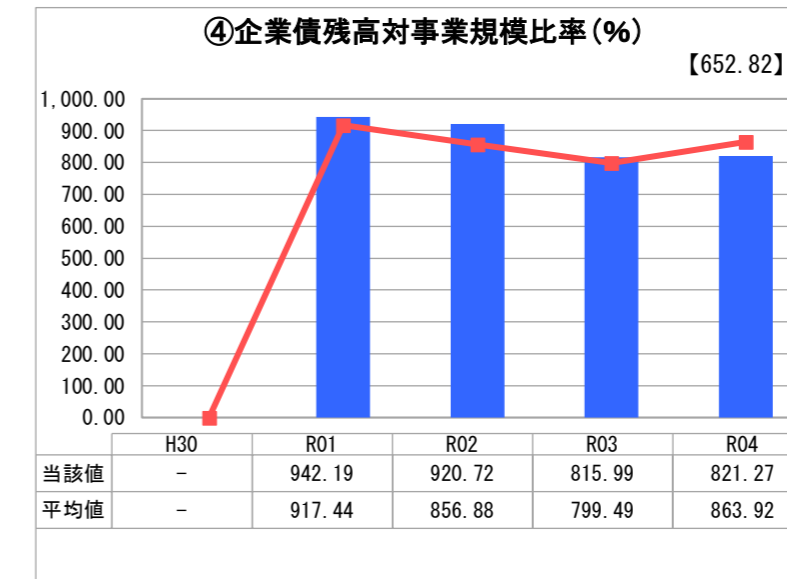
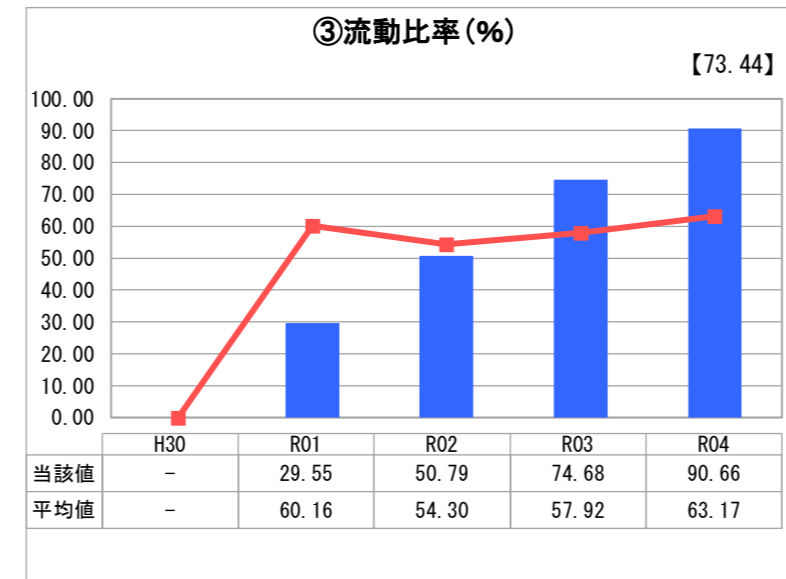
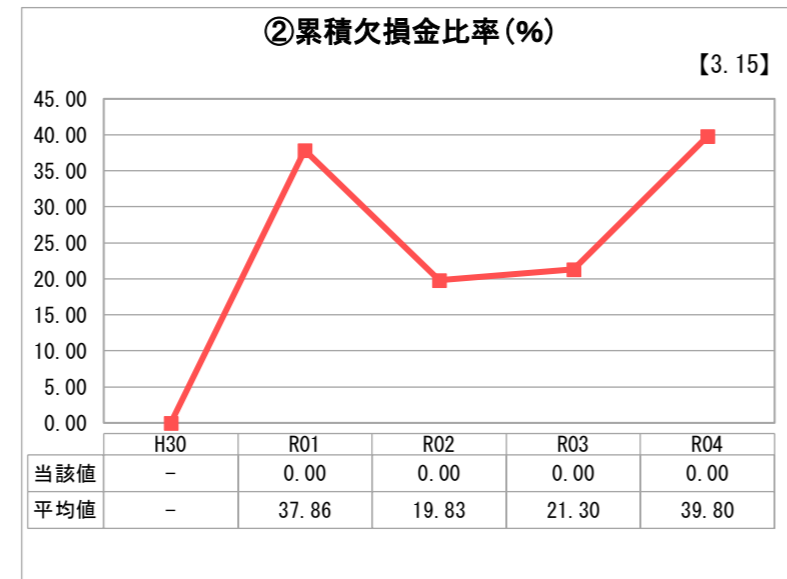
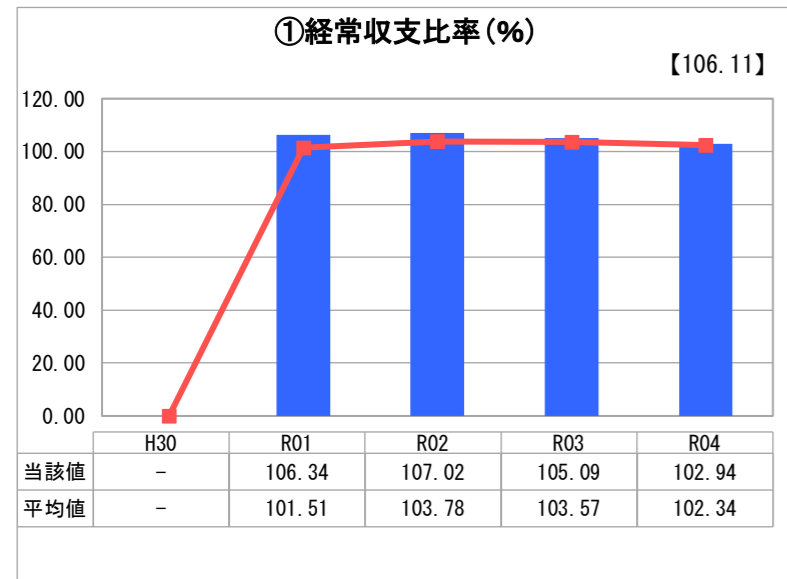
神奈川県 開成町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.83	72.54	80.29	1,685

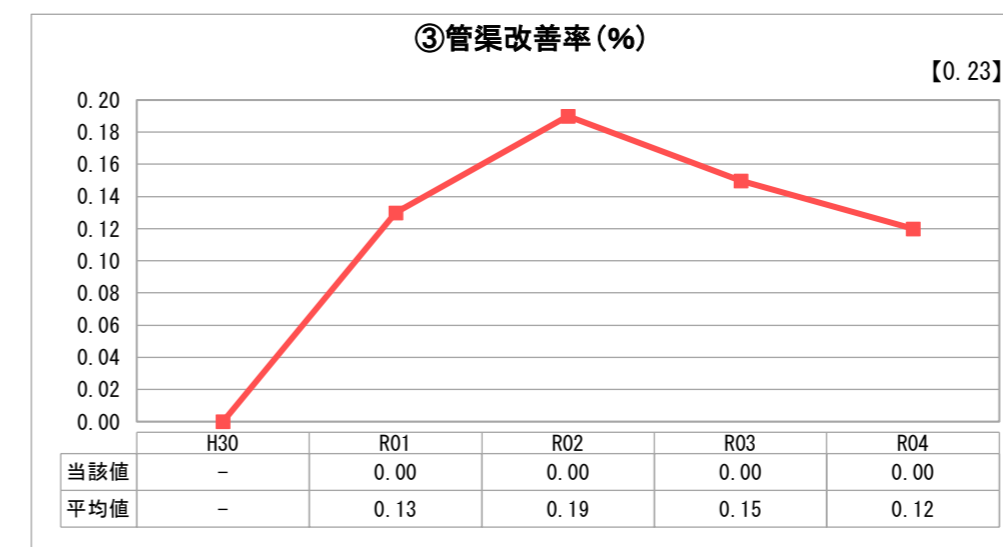
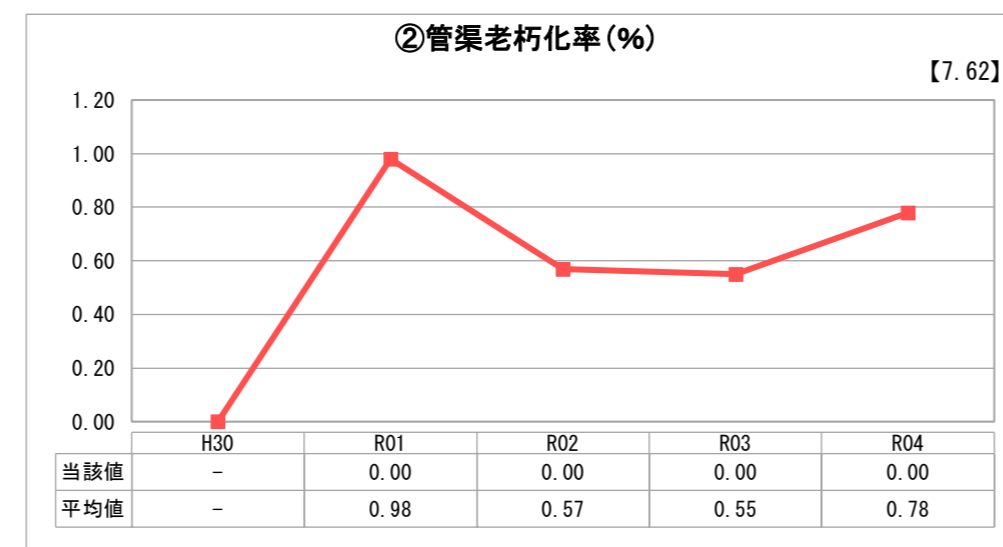
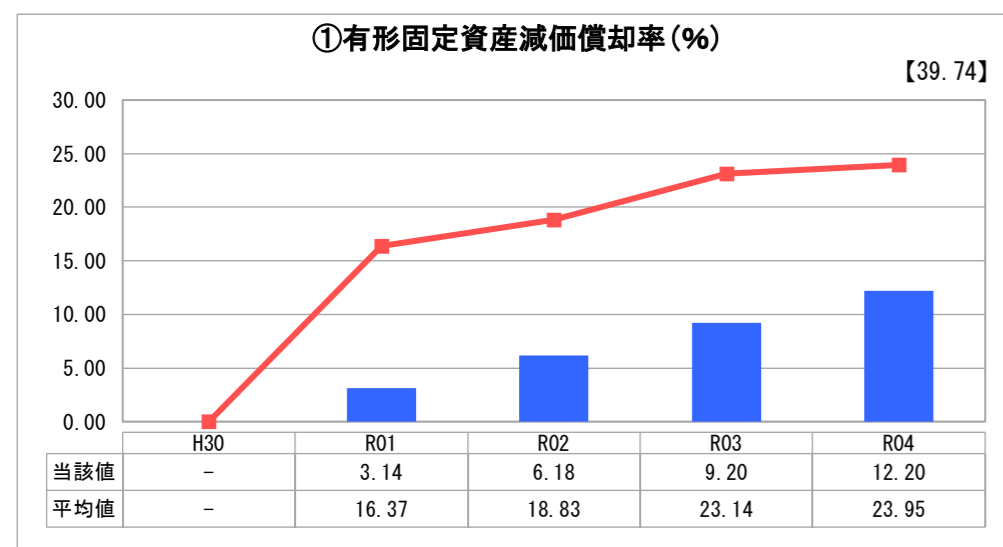
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,566	6.55	2,834.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,588	2.57	5,287.16

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は102.94%であり100.00%を超えておりますが、使用料収入の他に一般会計からの繰入を行っている状況です。経費回収率は100.00%を下回っており、類似団体の平均値と比較しても低い値となっています。前年度に比べ下がった要因としては、使用者への経済的支援を行うことから2期分(4か月分)の基本使用料の減免を実施したことによります。支出面では、今後、管渠等の老朽化に伴う更新費用等の増大を想定され、ストックマネジメント計画などの策定を行い収支を踏まえた計画的な更新を進めていく必要があります。引き続き経費削減や下水道使用料の見直しなど収支改善を行い経営の安定化を進めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

管渠については、耐用年数に達していないため管渠改善率は0.00%となっています。有形固定資産減価償却率は12.20%で類似団体平均値と比較しても低い数値であり老朽化の度合いは高くありません。現時点においてすでに耐用年数に達する管渠はありませんが、管渠調査の定期的な実施やストックマネジメント計画などを作成して将来の管渠の更新について計画的に進めていく必要があります。

全体総括

収入においては、エネルギー価格の高騰など下水道処理に要する経費は増加傾向にあり、収支状況の改善を図るため引き続き適正な使用料について検討を進める必要があります。支出においては、下水道処理経費の増加や今後の施設更新による費用の増加が懸念されます。現状では耐用年数に達する管渠はなく更新は行っておりませんが、将来の更新費用等を踏まえ計画的に更新が行えるようストックマネジメント計画などを策定する必要があります。ストックマネジメント計画などを策定し具体的な将来更新需要を経営戦略に反映させ、経費の節減や使用料の見直しなど収支の改善を図りながら中長期的に経営の安定化を図れるように進めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。